

Lively Farmer Project in 大分

～ 大分県内の元気で、頑張る生産者を紹介します♪ ～

“地域の農地、祖母の伝統を守りたい”



氏名：恒松 敬章 (つねまつ けいしょう)
 栽培作物：露地野菜 まんじゅう 漬け物
 経営面積：60a
 所在地：別府市
 就農年：平成21年



就農のきっかけ：恒松さんは、大分県立農業大学卒業後、いったんは農業ではなく事務職に就かれました。しかし、地域の農地が荒れていく風景を見て、少しずつ農業を仕事にする意識が生まれてきたそうです。元々ご実家が兼業農家で小さい頃から農作業の手伝いをした経験や、おばあさんが作ったおまんじゅうなどの加工品を買ったお客さんが喜ぶ姿を間近に見て嬉しかった思い出があり、「地域の農地、祖母の伝統を守りたい」と思い就農することを決意されました。

現在の取組：恒松さんは、別府湾が一望できる堂面棚田が有名な内竈(うちかまど)地区で、多品目の露地野菜を栽培しており、旬の野菜のほか、お母さん、おばあさんと3人で製造しているおまんじゅうなどの加工品を地元の直売所に出荷しています。また若手農業者組織「大分県農業青年連絡協議会」では会長も務められました。その経験から、県内外の同年代の農業青年と知り合う事ができ刺激を貰っているそうです。国や県等の関係機関の方とも知り合うきっかけにもなり、現在「象さんのエサ」となるさとうきび栽培に挑戦中です。



今後の展望：① 野菜の栽培も加工品の製造もまだまだ修行中なので安定生産できるようになりたい。
 ② 若手生産者や関係機関の方と積極的に情報交換をして知識を深めたい。
 ③ さとうきび栽培を通じて地域の耕作放棄地を減らしていけるよう、面積を増やして頑張っていきたい。
 …などなど意欲満々の恒松さんです！！